

だより

東名古屋病院

第97号

2024年10月発行

理念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

基本方針

- ① 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
- ② 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
- ③ 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
- ④ 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。



表紙の花「フジバカマ」

CONTENTS

巻頭言／予防接種のススメ

病気とのつきあい方／C型肝炎について

情報提供／お薬手帳の活用方法

地域医療連携室だより／地域医療連携室勉強会について

栄養管理室からのお知らせ／自慢の献立を紹介します！

自慢の献立を
紹介します！

お薬手帳の活用方法



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
 NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
 HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620

名古屋市長東区梅森坂5-101

TEL 052-801-1151 FAX 052-801-1160

ホームページ <https://higashinagoya.hosp.go.jp/>

予防接種のススメ



統括診療部長 武藤 亜紀子

皆さんはシングリックスって聞いたことありますか? ではタイコバックは? 実は皆さんもよく知っている病気を予防するんです。答えはシングリックス=帯状疱疹ワクチン、タイコバック=ダニ媒介脳炎ワクチンです。

シングリックスは、帯状疱疹といって水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気を予防するためのワクチンです。帯状疱疹は、80歳までに3人に1人は発症するといわれており、左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。人によっては、皮膚症状が治った後も痛みが続き日常生活に支障をきたすこともあります。

タイコバックは、TBEウイルスを保有するマダニに刺されることで感染する病気を予防するワクチンです。まだ日本での報告は少ないですが、ヨーロッパからアジアまでの温帯地域で標高1,500mまでの地域の、ダニが生息する森林や山間部で流行しています。症状は、頭痛や発熱、嘔吐といった髄膜炎症状から始まり、場合によっては死に至ることもあります。

WHOは、海外の流行地域において広範な野外活動を行うワクチン接種を推奨しています。他にも接種したほうがいとされるワクチン、肺炎球菌ワクチンやRSウイルスワクチンをご紹介します。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎の原因として最も多い原因となる感染症を予防するワクチンです。熱や咳といった風邪の症状によく似た症状が現れる場合もあれば、高齢の方では元気がない、食欲がないといった体調不良の原因になっていることもあります。2014年10月から65歳以上、および60歳未満でも基礎疾患がある方を対象に定期接種が開始されました。肺炎がなくなることはありませんが、これからの高齢化社会に向かう中では、公的な補助もうけることができる必要なワクチンと考えられます。

RSウイルスワクチンは、RSウイルスに感染することによって引き起こされる重症呼吸器感染症を予防するワクチンです。20年以上前から新生児の感染予防は始まっていましたが、昨年からはやっと60歳以上の方に対するワクチン接種が始まりました。統計では、年間12万から14万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され約4分の一の3万人が入院を必要とすると推定されています。子供の時にそんなに感染するのにも関わらず、免疫力が低下して抗体価が下がってくる60歳以上では6万人以上が感染し、入院して亡くなるのは4,000人とも報告されています。

小児科では、生後2か月からワクチン接種のスケジュールが日本でも組まれています。国によって種類や回数が違ってきますが、世界的に予防ワクチンは小児科では当たり前となっています。数年前からテレビのコマーシャルでも成人向けの肺炎球菌ワクチンや帯状疱疹ワクチンについて俳優さんが推奨しているのは、それだけの効果があるからです。

コロナウイルスワクチンは、いろいろな意見がありましたが大多数の方が接種したことから有効であったと考えられ、予防医学やワクチンに関心が寄せられました。また、政府もワクチン開発や接種に今後は力を入れていく、と提言しています。

予防接種は子供のものという考え方から、今後は高齢者の予防医学として広く周知されていくと思います。今回は代表的なワクチンなどを紹介させていただきましたが、これを読んで興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。当院の健診外来ではワクチン接種にも積極的に取り組んでいこうと思います。



C型肝炎について



消化器内科医長 高橋 宏尚

C型肝炎はC型肝炎ウイルス(HCV)に感染することで起こる疾患です。HCVに感染すると、その約7割が持続感染者となり、慢性肝炎、肝硬変と進行し、肝臓を発症するリスクが高まります。肝臓は『沈黙の臓器』と言われ、肝炎になっても自覚症状はほとんどありません。そのため気がついた時には病状がかなり進行し、治療も難しくなってしまいます。今回はC型肝炎について、感染経路、治療、気をつけることなどを紹介させていただきます。

HCVは感染力がそれほど高くないウイルスであり、通常の社会生活で感染することはほとんどありません。他人の血液や体液に直接触れることがなければまず大丈夫です。感染している人と一緒に入浴したり、食事をしたりしても感染することはありませんので、間違った認識で感染している人を差別することは絶対に許されません。

HCVへの感染の有無を調べる最初の検査はHCV抗体検査です。当院では内視鏡検査前や入院時に検査していますが、健診などでは項目に入っていない場合があります。HCV抗体検査が陽性の場合にはHCVに一度は感染していることはわかりますが、検査時も感染しているかどうか

はわかりません。そこで次の検査としてHCV核酸増幅検査を行い、陽性であればHCVに持続感染、即ちC型肝炎に罹患していることとなります。



C型肝炎に対する治療の目標はHCVの排除です。ウイルスの排除により肝臓の炎症が改善し、肝硬変への進展、肝臓の発症リスクを下げることができます。C型肝炎の治療は1992年以降、インターフェロン(IFN)という注射を中心に行われてきました。しかしIFNは効果が不十分で発熱などの副作用も多く、新しい治療法が望まれていました。その後、HCVに直接作用する薬剤(DAA)が開発され、IFNと併用し、治療が行われるようになりました。2014年9月からはDAAのみで治療するIFNフリー治療が開始され、現在の主流となっています。DAA治療により、約9割でウイルス排除ができるようになってきました。さらにDAAにはIFNのような副作用も少なく、IFN治療を断念した人でも治療ができる場合が多いです。

C型肝炎治療の目的はウイルス排除ですが、薬剤治療後も経過観察が必要です。肝臓の発症を見逃さないように定期的な画像検査(腹部エコー、CT、MRIなど)および血液検査を行っていくことがとても大切になります。

HCVに感染しているかどうかはHCV抗体検査、HCV核酸増幅検査などの血液検査を受けなければ

わかりません。また検査を受けて陽性であっても結果を覚えていない、治療を受けていない人が多く残っています。今後、このような方をいかに治療に結びつけるかが残された課題であると考えます。

お薬手帳の活用方法



薬剤部 中村 あゆみ

お薬手帳とはいつ、どこで、
どんなお薬を処方してもらっ
たかを記録しておくものです。

複数の医療機関を受診する際、あなたがどんなお薬を飲んで
いるか、または過去に飲んでいたのかが分
かります。お薬が重複していないか、お薬
どうしの飲み合わせは問題ないかなど
確認することもできます。例えば、
新型コロナウイルス感染症のお薬である
パキロビッド®パックやゾコーバ®錠は
飲み合わせで注意が必要なお薬がた
くさんあります。一緒に服用しては
いけないお薬があるかどうかを確
認せずに処方されてしまうと重い
副作用が出る可能性があります。



私たち薬剤師は患者さんが入院された時には、
前の病院からの紹介状に直近のお薬の
情報しか記載されていない場合があ
るため、お薬手帳の処方歴をさかの
ぼって確認することがあります。例
えば、骨粗鬆症の治療薬で年に2回
投与するプラリア®皮下注は注射薬
なのでお薬手帳には記載されな
いこともあります。副作用予防に
処方されているデノタス®チュア
ブル配合錠というお薬の処方歴を
確認したことで、骨粗鬆症治療
歴の把握や重複投与を防ぐことが
できました。

このようにお薬手帳は、副作用や飲み
合わせを避けることができる他、副
作用歴、アレルギー情報の共有、
更には災害時に処方箋なしでお薬
を受け取れることができたりしま
す。

また、最近ではお薬手帳をスマート
フォンアプリで管理する電子版お
薬手帳が登場し、薬の服用歴のほ
かに血圧や血糖値など自身の健康
情報を簡単に記録・管理したり、
アプリを利用した服薬指導や各医
療機関・薬局で交付されたお薬を
マイナポータルと連携することで
呼び出すこともできます。

私たち薬剤師は安全な治療を患者
さんに提供するために、お薬手帳
から多くの情報を得ています。お
薬手帳を自分の情報を共有するた
めのツールとして、また自分を心
配してくれる家族のためにも、
ぜひ活用してみてください。



地域医療連携室だより

地域医療連携室勉強会について

地域医療連携係長／看護師長 澤野 かおる

地域医療連携室では患者さんの快適な療養環境を支援していくために、患者さんに関わる地域のいきいき支援センター、訪問診療に関わる医療・介護スタッフ等と連携を図っています。その地域連携活動の一環として、今まで小規模な集まりで実施していた勉強会を今年度より地域医療連携室主催の勉強会として行うことになりました。

勉強会の名称は当院のマスコットキャラクターである「ウメモリン」から名前をいただき「ウメモリン勉強会」と名付けました。

第一回の勉強会を9月19日(木)に実施し40名弱の地域の患者さんを支える支援者の方々が参加されました。第一回目勉強会のテーマはALS患者さんの共同意思決定支援の事例から学ぶ『難病患者の意思決定支援』です。前半部は「神経難病患者さんのACPIにおける“対話”について」の講義と実際のALSの患者さんへの共同意思決定



支援の実践事例の発表、後半は「在宅での共同意思決定支援について考える」をテーマにワークショップを行いました。患者さんを支援していく中で患者さんの想いと支援者の想いのギャップや患者さんにとっての最善の支援とは何か?など、ワークショップで意見交換をすることで、日ごろ患者さんとかかわっていく上で湧き上がってくる色々な想いを共有することができました。また、様々な職種が集まり意見交換をすることで、一つの考え方にとらわれることなく柔軟な発想で患者さんの支援ができるのではないかと思います。終了後のアンケートでも9割以上の参加者の方々から満足した、また参加したいとの声をいただきました。

今後もこの「ウメモリン勉強会」を行い、より患者さんに満足いただけるサービスの提供をしていきたいと考えています。

第1回 東名古屋ウメモリン勉強会
『難病患者の意思決定支援』
～ALS患者さんの共同意思決定支援の事例から学ぶ～

無料
要申込

2024年
9月19日 木 18:30～20:00

東名古屋病院 第一会議室（現地のみ開催）
〒465-8620 名古屋梅森坂五丁目101番地

●患者さんを支える中で、患者さんの思いと支援者の思いのギャップや患者さんにとっての最善の支援とは何か?など、ワークショップで意見交換をすることで、日ごろ患者さんとかかわっていく上で湧き上がってくる色々な想いを共有することができました。また、様々な職種が集まり意見交換をすることで、一つの考え方にとらわれることなく柔軟な発想で患者さんの支援ができるのではないかと思います。終了後のアンケートでも9割以上の参加者の方々から満足した、また参加したいとの声をいただきました。

18:30～
19:10

『神経難病患者さんのACPIにおける“対話”について』
東名古屋病院 第一 神経内科医長 橋本 康子
ALS 看護師長 山本 美穂
ALS 介護士 山本 美穂
ALS 介護士 山本 美穂

19:10～
19:30

『在宅での共同意思決定支援について考える』
東名古屋病院 第一 神経内科医長 橋本 康子
ALS 看護師長 山本 美穂
ALS 介護士 山本 美穂
ALS 介護士 山本 美穂

次回のご案内 日時:2025年3月上旬ごろ
『慢性呼吸不全患者の生活支援』

お申込み方法
①インターネット: 各型 QR コードの Google フォームより申込
②FAX: 郵送、申込書記帳の上、FAX にて送付
上記いずれかで申し込みください。

申込 QR
～お問い合わせ～
東名古屋病院地域連携係 澤野 かおる
TEL:052-901-1151
FAX:052-901-1527



次回の勉強会の予定は、冬頃にコミュニケーションツール勉強会、3月ごろに呼吸器内科より慢性呼吸不全患者の生活支援(仮)を予定していますので奮ってご参加ください。

自慢の献立を紹介します!

栄養管理室 小野田 慎平



栄養管理室は管理栄養士、調理師、給食委託職員で協力し、安心・安全でおいしい食事の提供を目指しています。管理栄養士の主な業務としては、入院患者さんの栄養管理(治療食の提供)、外来・入院患者さんの栄養指導、チーム医療への積極的な参加も行っています。また、疾患や治療の影響で食事を摂れない方や低栄養の患者さんに対して、個々の症状や希望に応じてきめ細やかな食事対応・栄養管理が提供できるように日々取り組んでいます。入院中の食事は患者さんにとって治療やリハビリの効果を高めるための

基礎となるとともに、療養生活の楽しみの1つとなっています。当院では長期療養の患者さんも入院されるため、少しでも入院生活を心地よく過ごせるよう、季節・行事に応じた食事提供を行っています。

今回は、そんな栄養管理室から、当院での食事の取り組み、自慢の献立を紹介したいと思います。



特別メニュー

第2・4金曜日の夕食に、握り寿司・巻き寿司を提供しています。病院食でのお寿司の提供は、衛生管理の難しさなどから提供している病院は多くありません。ですが、当院では、患者さんからの希望や人気が高いメニューであることも考慮し、月2回の提供を行っています。季節に応じて冬場は握り寿司を、夏場は衛生管理の都合上、巻きずしと稲荷寿司へ変更して提供しています。どちらも人気が高く、喜ばれるメニューの一つとなっています。



行事食

入院生活の中でも四季を感じられ、文化的な食事を味わえるように、行事に合わせた食事を提供しています。



七夕



クリスマス



年末年始



当院では、疾患や嚥下機能に合わせた個別の食事を提供しており、食事の種類により行事食の対応ができない場合もございます。ご了承ください。

外来案内

診療受付時間／午前8時30分～午前11時まで(緊急の場合はこの限りではありません)

診療開始時間／午前9時～

休 診 日／土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診時の特別料金／他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,200円(税込)をいただいております。ご了承ください。
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表(令和6年10月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	初診 角田 陽平	垂水 修	林 悠太	中川 拓	山田 憲隆
	垂水 修		角田 陽平		林 悠太
	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓／小川 賢二 (第1・3週) (第2・4・5週)	小川 賢二	
循環器内科	服部 智貴		廣瀬 未来		
健康診断					武藤亜紀子
脳神経内科	初診 片山 泰司 (第1・3・5週) 村尾 厚徳 (第2・4週)	奥田 聡	橋本 里奈	横川 ゆき	小森 祥太 (第1・3・5週) 栗田 泰斗 (第2・4週)
	饗場 郁子	片山 泰司	栗田 泰斗	小森 祥太	村尾 厚徳
	横川 ゆき		横川 ゆき (第1・3・5週) 小森 祥太 (第2・4週)	橋本 里奈	
			饗場 郁子	奥田 聡	
消化器内科	横井 美咲	高橋 宏尚	高橋 宏尚／小林 慶子 (交替制)	小林 慶子	高橋 宏尚／小林 慶子 (交替制)
呼吸器外科		山田 勝雄			
外科・消化器外科				永田 博 (第2・4週)	渡邊 正範
乳腺外科		遠藤登喜子			遠藤登喜子／森田 孝子
乳腺・内分泌外科				今井 常夫	
整形外科	伊藤 裕哉	堀江裕美子	生田 健／杉山珠里／浅井信之 (交替制)	佐藤 駿文	堀江裕美子
リウマチ科				佐藤 駿文	
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博		岡村 菊夫 (午前 通常診療・午後 女性外来※2)
精神科					亀位 翼
膠原病内科	鈴木 道太 (9:30～)				
内分泌内科					深見亜也子
小児科(予約制)	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛		加藤 愛
耳鼻いんこう科※1	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	

※1:補聴器外来(予約制)／第1・3火曜、木曜 14:00～15:30

※2:女性泌尿器科外来／金曜(受付)12:00～13:30(診察)13:30～15:30

●時間外・休日の救急診療については、お電話にてご相談ください。(052-801-1151)

●セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用ください。

●火・(水)・木曜午後に一般健診を行っています。(健診受付は14:00～15:00です。)

東名古屋病院

病院紹介動画▶



病院へのアクセス



1 地下鉄東山線 星ヶ丘駅からお越しの場合

- ・市バス③番のりば 東名古屋病院行きまたは梅森荘行き約15～25分…東名古屋病院にて下車
- ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分

2 地下鉄東山線 本郷駅からお越しの場合

- ・市バス①番のりば 地下鉄平針駅行き20～30分…東名古屋病院にて下車

3 地下鉄鶴舞線 平針駅からお越しの場合

- ・市バス①番のりば 本郷行き約10分…東名古屋病院にて下車
- ・タクシーにて約8分

4 名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線 赤池駅からお越しの場合

- ・タクシーにて約8分

5 東名高速道路 名古屋ICより車で約20分